

特定非営利活動法人 子育て応援団ひよこ
平成27年度事業報告
(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

I 運営に関する事項

1. 総会の開催

日時 : 平成27年5月9日 18:30～20:30

名取市市民活動支援センター

2. 理事会の開催

(4月・8月・10月・1月・3月 計5回開催)

3. 法人職員体制 (平成26年3月31日現在)

(1) 子育て応援団ひよこ事務局

事務局長 (兼増田児童センター事務員) : 鈴木 敏浩

事務員 : 1名 (兼那智が丘児童センター事務員)

(2) イベント託児事業

代表 (兼理事) : 白川 万喜子

ボランティア登録スタッフ : 21名

(3) 児童センター管理運営事業

児童センター運営管理事業統括 : 齋藤 勇介

統括補佐 : 小野 高宏

<那智が丘児童センター>

館長 (兼理事長) : 齋藤 勇介

主任児童厚生員 : 1名

児童厚生員 : 5名 事務員 : 1名 補助員 : 4名 計10名

<増田児童センター>

施設管理者兼主任児童厚生員 (兼副理事長) : 小野 高宏

児童厚生員 15名 補助員8名 計24名

(増田児童センター・増田、下増田放課児童クラブ・

ファミリーサポートセンター スタッフ含む)

II 特定非営利活動に関する事項

大分類	事業名	小分類	事業内容
1	児童センター運営管理事業	(1)	那智が丘児童センター指定管理事業
	同上	(2)	増田児童センター業務委託運営
2	次世代育成事業	(1)	子育て支援者のためのスキルアップセミナー
3	地域連携事業	(1)	子育てイベント託児
	同上	(2)	青少年への命の授業
	同上	(3)	他団体との連携・協力
4	子育て支援事業	(1)	訪問型子育て支援「ホームスタート」

1. 児童センター運営管理事業

(1) 那智が丘児童センター指定管理事業

- ① 内容
- 実施日 : 年間を通じて実施
* 日曜、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）を除く
 - 実施場所 : 名取市那智が丘児童センター
 - 従事者 : 常勤7名（臨時職員含む）、補助員4名（長期休みやイベント時など）
 - 受益対象者 : 0歳児から18歳までの児童及びその家族
放課後児童クラブ員（小学校1年生から6年生までの登録児童）

② 運営方針

- a. 児童に健全な遊びや活動の場を提供し、心と身体の健康の増進を図るようにする。
- b. 健全な遊びを通して、児童に日常生活の在り方や、安全について体得できるようにする。
- c. 異年齢児との活動を通して、心と心のふれあいと社会連帯意識を育てるようにする。
- d. 地域活動の育成助長を図っていくようにする。
- e. こども及び家族福祉に関わる団体・機関とのネットワークを育み、子育てを地域で見守り、応援し、支え合う子育ての環境作りに取り組む。

③ 目的

- a. 生活や遊びを通して
 - ・ 組織的運動や遊びを集団的に実施することにより、児童の活動力を助長する。
 - ・ いろいろな経験をすることで遊びの楽しさを知らせる。
 - ・ ルールを身につける。
 - ・ 異年齢との交流を深める（思いやり・協調性を養う）。
- b. 安全に過ごす・・・危機管理意識を持つ。

④ 保護者支援・子ども乳幼児への支援

子育てひろば (ぴよぴよハウス)	・ 育児の中で親子共に心安らげる場所を提供する。 ・ 育児についての不安や悩みを共有する。 ・ 月曜日～金曜日 9:00～16:30（祝日、年末年始を除く） * 年間利用者数は別表1参照。
ファミリー フェスティバル	・ 市内の子育て支援センターと連携し実施する子育て支援行事。 - 年間1回 * 高館あおぞら保育園・増田児童センターと連携し、実施している。
育児リフレッシュ (コッコの時間・ シネマ de コッコ)	・ 母子分離を行って活動を楽しむことで、育児リフレッシュを図る。 ・ 少しの時間子どもと離れ、自分の時間を過ごすことで、心にゆとりを持ち、育児の楽しさを再確認してもらう。 <コッコの時間> ・ 年間9回実施 * 参加費 無料、活動中託児有 <シネマ de コッコ> * ママの映画会 ・ 全9回開催 * 映画会の会場に遊びのスペースを設置。託児は行わないが会場内でスタッフと遊びながら過ごすことが出来る
遊びの広場 「ぴよぴよ広場」	・ 親子触れ合い遊びや集団遊びなどの活動を通じて、子どもとの関わり方、子育ての楽しさを伝えていく。

	工作、クリスマス会、遠足、歯磨き教室など実施。 ・ 年間 10 回開催。
びよびよファーム	・ 畑作りの活動を通じて、自然と触れ合う経験を促す。 年間 8 回開催
子育て情報誌の発行 「piyopiyo」	・ 情報誌を通じて、子育てに関わる情報を地域へ伝える。 ・ 毎月 1 回発行
その他	・ 歯科指導・子育て支援センター連携協力等 年間 41 回実施 ・ メール配信・ホームページ・ブログを利用したの情報提供



歯磨き指導



**こいのぼり製作
(ママの自主企画支援)**



びよびよファーム



水遊び

⑤ 放課後児童クラブ及び自由来館

a.内容

児童に対しての遊びの指導及び助言並びに放課後の生活の場の提供。平成25年度放課後児童クラブ登録児童数は38名（平成26年3月末日登録現在）自由来館業務に関しては、登録児童以外の1年生から6年生までの児童及び中学生、高校生

b.各種活動行事

- ・各種大会等……様々な遊びに挑戦し、楽しさや達成感が感じられる活動を実施。
- ・工作タイム……身近な材料などを使い、簡単で楽しい工作を実施。
- ・スポーツタイム…ドッジボールやバレーボールなど、体を元気に動かす。
- ・お話しタイム……お話ボランティアさんによる楽しいお話の時間。
- ・ティータイム……簡単なおやつを自分で作ってみんなと楽しく食べる。
- ・きりえタイム……カッターの安全な使い方を知り、自分だけの作品を作る。
- ☆その他、折り紙タイムやお茶会など楽しい行事を多数実施。

⑥ 次世代育成支援

育児ボランティア 育成支援	・ 地域にある大学を中心にした学生ボランティア育成支援 ・ 子育て経験者を中心とした育児ボランティアサークルの育成支援
------------------	--

⑦ 地域交流

お話し会	地域のお話しボランティア「お話しポケット」によるお話し会を開催。活動を通じて子どもたちと地域の方々との交流を図る。 毎月1回開催。
老人保健施設なとり 慰問交流会	学区内にある老人保健施設なとりとの慰問交流。世代間交流を通じて思いやりの心や、やさしい気持ちなど、子どもたちの心の成長を育む 年間1回実施
福寿会交流	地域で活動している福寿会との交流。ゲートボールやグラウンドゴルフなどの活動を通じて、地域の世代間交流を図る。 年間1回開催

⑧ 中高生への支援

+You (プラス ユー)	中高生の居場所作り事業 16:30以降の時間、クラブ室以外のスペースを中高生に開放。ボランティアではなく、自分たちの「居場所」として施設の活用を促す。
その他	みどり台中学校共催「命の授業」 中学3年生を対象に、地域の方々とともに、出産から人生の終焉までを考える。

出産を控えた方から次世代を担う方々、放課後児童クラブ対象児童、子育てをひと段落された方々までつながりを持って支援していくことで、育児力の向上を図るだけでなく、地域の育児に対する意識の向上や、児童センターを介した地域交流から地域の活性化を目指している



バケツ稲作体験



にじいろパーティー



クリスマス会



おたのしみタイム～カブラ

⑨ 那智が丘児童センター利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	計
開館日数	25日	23日	26日	26日	26日	126日
登録児童 (放課後児童)	455名	434名	503名	453名	367名	2212名
自由来館 (小学生以上)	237名	193名	227名	296名	321名	1274名
乳幼児の親子 (ひろば利用)	178名	266名	344名	410名	244名	1442名
行事 クラブ活動	136名	368名	357名	741名	366名	1968名
他団体 地域活動	240名	206名	254名	228名	20名	948名
合計	1246名	1467名	1685名	2128名	1318名	7844名

	9月	10月	11月	12月	計
開館日数	24日	26日	24日	23日	97日
登録児童	397名	443名	384名	367名	1591名
自由来館 (小学生以上)	206名	194名	152名	145名	697名
乳幼児の親子 (ひろば利用)	323名	338名	296名	237名	1194名
行事 クラブ活動	461名	425名	344名	379名	1609名
他団体 地域活動	160名	419名	139名	90名	808名
合計	1547名	1819名	1315名	1218名	5899名

	1月	2月	3月	計	総計
開館日数	23日	24日	26日	73日	296日
登録児童	351名	371名	371名	1093名	4896名
自由来館 (小学生以上)	112名	162名	263名	537名	2441名
乳幼児の親子 (ひろば利用)	244名	330名	328名	902名	3538名
行事 クラブ活動	268名	234名	681名	1183名	4760名
他団体 地域活動	55名	22名	199名	276名	2032名
合計	1030名	1119名	1842名	3991名	17667名

1日平均利用者数：約60.7名

⑩ 1年のまとめ

事業開始から5年目を迎え、地域との絆を強め、児童センターの存在が地域に根差したものになってきたように思う。新制度へ移行し、放課後児童クラブの対象拡大や料金制度の導入など新たな取り組みもあったが、ひとつひとつ確認しながら、利用者の混乱を最小限に取り組めたように思う。今後は、こどもの育ちや今後の子育て環境改善に向けた取り組みを、こちらからの発信だけではなく、利用者や地域の方々と問題共有しながら、「共に」取り組んでいけるようさらに踏み込んだ関係作りをしていきたいと思う。

(2) 増田児童センター業務委託運営事業

- ① 内容
- 実施日 : 年間を通じて実施
* 日曜、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）を除く
 - 実施場所 : 名取市増田児童センター・下増田幼稚園（下増田放課後児童クラブ）
 - 従事者 : 常勤19名、補助員3名
 - 受益対象者 : 0歳児から18歳までの児童及びその家族
放課後児童クラブ員（小学校1年生から3年生までの登録児童）

② 運営方針

- a. 児童に健全な遊びや活動の場を提供し、心と身体の健康の増進を図るようにする。
- b. 健全な遊びを通して、児童に日常生活の在り方や、安全について体得できるようにする。
- c. 異年齢児との活動を通して、心と心のふれあいと社会連帯意識を育てるようにする。
- d. 地域活動の育成助長を図っていくようにする。
- e. こども及び家族福祉に関わる団体・機関とのネットワークを育み、子育てを地域で見守り、応援し、支え合う子育ての環境作りに取り組む。

③ 目的

- a. 生活や遊びを通して
 - ・ 組織的運動や遊びを集団的に実施することにより、児童の活動力を助長する。
 - ・ いろいろな経験をすることで遊びの楽しさを知らせる。
 - ・ ルールを身につける。
 - ・ 異年齢との交流を深める（思いやり・協調性を養う）。
- b. 安全に過ごす・・・危機管理意識を持つ。

④ 保護者支援・子ども乳幼児への支援

活動名	内容・開催日・場所・回数等	ねらい
ぴよぴよひろば ※1歳児向け 2・3歳児向け	・ 2か月に1回程度開催 （10:30～11:30） ・ 親子ふれあい遊び、集団遊び、工作、児童文化財鑑賞など	・ 親子での活動を通じて、親子同士や地域の様々な関係とのコミュニケーションを図る。 ・ 同じ学年の子どもを持つ保護者同士の繋がりをつくり就学後の関係づくりに活かしていく。 ・ 様々な活動を通し、子どもの成長を見守る関係づくりを図る。 ・ 遊びの紹介、伝承を行う。
赤ちゃんひろば	・ 毎月1回の開催。 ・ 0歳児のお子さんを対象	
赤ちゃんのつどい	・ 毎月1回の開催。 ・ 0～1歳頃のお子さんを対象。 ・ 集会室を専用部屋として開放。	
双子ちゃんの広場	・ 年2回開催。 ※参加者のニーズによってはつどいの開催へ切り替える。	

双子ちゃんのつどい		・年3回開催。 ・双子を持つ保護者を対象。 ※保護者のみの参加も可。	し、育児リフレッシュを図る。
離乳食 Q&A		・年3回開催（5月、11月、1月） ・離乳食を実践中の方を対象。	・保健センターとの連携を図りながら、育児中の疑問などを気軽に質問できる関係をつくる。 ・発達に応じた、専門的な知識を聞く機会を設ける (那智が丘との共催)
幼児食 Q&A		・年2回開催（10月、2月） ・1歳～1歳半を対象。	
歯みがき指導		・年2回程度開催。 ・0～1歳、1歳半～を対象。	
コッコの時間		・月1回程度の開催。 ・保護者のリフレッシュを目的とした活動を行う。 ・内容によっては託児を行う。	・大人中心の活動の中で育児リフレッシュ、コミュニケーションを図る。 (那智が丘との共催)
育児相談 (もしもし子育て110番)		・月～金 ・電話相談、来所・サロンでの相談 ・H27年度の相談件数36件	・育児に不安や悩みを持つ親などから電話や面接を通じて相談を受け、話を聞いたり、問題解決へのアドバイス等をし、子育て支援の一環を担う。
サークル 支援・育成	子育てサークルの遊びのお手伝い	・各サークルにつき年2回 ・各活動場所にて	・サークルの要請に応じ、親子の遊びを支援する。 ・遊びの講習を行い、サークル活動のサポートをする。 ・サークル同士の交流を図る。 ・活動拠点の児童センター職員との繋がりをつくる。
	サークル代表への遊びの提供 (サークルサークル会)	・年5回開催 ・増田児童センター	
	サークル交流運動会	・年1回 10月15日 ・名取市体育館	
	自主サークル結成のお手伝い	・要請に応じて	
関係機関 連携・支援	親子ビクス	・年2回（6／11、12／3）	・活動の中で学習したり、子どもと一緒に活動したりしながら、育児の楽しさを知ってもらう。 ・他参加者や講師とのコミュニケーションを育児不安の解消のきっかけにしてもらう。
	ふれあいボール遊び	・年2回（4／28、11／10）	
	親子リズム遊び	・年2回（5／15、9／25）	
	わらべうた	・年1回（2／22）	
	ベビーマッサージ	・年2回（7／1、1／13）	
	ベビー親子ヨガ	・年2回（6／23、10／20）	
	交流会	・年3回開催 (お花見4月・七夕7月・クリスマス12月)	・各センターを利用している親子、これから利用する親子の交流や情報の共有を図る。

		・保健センター	・市内の子育て支援に携わる人を知ってもらい、より良い支援活動に繋げていく
	ファミリーフェスティバル	・年1回開催（3／10） ・名取市体育館	
	なとりっこ	・年1回（10／17（土）） ・名取文化会館	
	保健センター 「遊びのひろば」	・年9回 ・5、6、8、9、10、11、12、1、3月	・子育てに関わる機関と情報交換を行い、一貫した活動を行う。
	ボランティアグループ・ボランティア連絡会との連携	・遊びの支援、育児講座、サークル支援等に関わってもらう。	・子どもとの接し方、遊び方を保護者へ知らせる。 ・子育ての相談相手とし、悩みを聞く。
	ちいさななかたち	・年3回発行（5、9、1月）	・育児に役立ててもらえるよう、子育てに関する各種情報の提供。
その他	ぴよぴよ通信の発行	・月1回	・行事の告知、子育ての情報発信。
	・パパママお楽しみDAY（12／5） ・利用者のママ主催イベント（年間12回開催） ・曾我さん（ハグハグ）ギターコンサート（2／9） ・ハンドベル演奏会（12／21）		

☆子育て支援の様子☆



サークルサークル会



親子遠足



パパママお楽しみDAY



ママ主催「羊毛フェルト」作り



ようこそ名取へ



ママ主催「英語で遊ぼう」

⑤ 放課後児童クラブ及び自由来館

a.内容

児童に対しての遊びの指導及び助言並びに放課後の生活の場の提供。平成 27 年度増田放課後児童クラブ登録児童数は 79 名・下増田放課後児童クラブ 110 名。(平成 28 年 3 月末日登録現在) 自由来館業務に関しては、登録児童以外の 1 年生から 6 年生までの児童及び中学生、高校生
増田児童センターは、増田放課後児童クラブ、下増田放課後児童クラブ（下増田幼稚園内）の 2 放課後児童クラブを運営している。

b.各種活動行事

- ・各種大会等……様々な遊びに挑戦し、楽しさや達成感が感じられる活動を実施。
- ・工作タイム……身近な材料などを使い、簡単で楽しい工作を実施。
- ・スポーツタイム…ドッジボールやバレーボールなど、体を元気に動かす。
- ・お話しタイム……お話ボランティアさんによる楽しいお話の時間。
- ・午後の喫茶……簡単なおやつを自分で作ってみんなと楽しく食べる。
- ・きりえタイム……カッターの安全な使い方を知り、自分だけの作品を作る。
- ☆その他、ぬりえタイムやあそびのお祭りなど楽しい行事を多数実施。

⑥ ファミリーサポートセンター

- ・「育児のお手伝いをしてほしい方（利用会員）」と「育児のお手伝いをしたい方（協力会員）」が、地域の中で助け合いながら子育てをする会員組織・有償のボランティア活動。
- ・利用のしくみ……利用するためには、会員登録が必要。
援助を受けたい方（利用会員）、援助を行いたい方（協力会員）はセンターに申し込むことによって会員となる。援助を受けることと行うことの両方を希望する場合には、両方会員になることもできる。

a. 会員数について〈平成 27 年 3 月末現在〉

依 頼 会 員	498 人
提 供 会 員	132 人
両 方 会 員	49 人
合 計	679 人

b. 活動状況について〈平成26年4月～平成27年3月〉

内 容	回 数
保育所・幼稚園の登園前の預かり	14回
保育所・幼稚園の送り	195回
保育所・幼稚園の迎え	578回
保育所・幼稚園の帰宅後の預かり	444回
学童の放課後の預かり	104回
放課後児童クラブの迎え	302回
放課後児童クラブ終了後の預かり	282回
子供の病気の援助	8回
子供の習い事等の場合の援助	297回
保育所・学校等休み時の援助	92回
保育所等施設入所前の援助	0回
保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助	2回
保護者等の求職活動中の援助	9回
保護者等の冠婚葬祭による外出、他の子供の学校行事の場合の援助	3回
保護者等の外出の場合の援助	59回
保護者等の病気、その他急用の場合の援助	1回
保護者等の家事、用事、リフレッシュ等の援助	102回
その他	24回
小学校の送り	0回
児童センターの送り	0回
児童センターの迎え	2回
合 計	2518回

キャンセル回数	45回
---------	-----

⑦ 地域交流など

- ・(震災復興支援)「心の絆プロジェクト～ワークショップ逆再生動画の作成～」(一般社団法人心の絆プロジェクト) 社会人ボランティアの方たちによる、小学生向けグループワークショップの体験。7、8名の様々な学年メンバーのグループをつくり、グループごとに、動画を撮影。撮影したものを逆再生させて発表する。グループ内で力を合わせて話し合い、いかにおもしろい動画を作れるかを体験する。8月20日増田児童センター敷地内。
- ・(震災復興支援)「神戸の大学生ボランティアチームの企画による縁日イベント」大学生が主となって、お祭りを企画。児童は各コーナーをまわって学生と交流。8月31日 増田児童センター敷地内。
- ・「移動図書館お話し隊」移動図書館が来館し、地域の方と小学生が外やホールで自由に本を読んだり、スタッフによる読み聞かせを聞いたりした。9月5日(土)増田児童センター玄関前とホール。
- ・(震災復興支援)「ポケモンワゴン」(株)ポケモン・(株)ニア アニメキャラクターポケモンのワゴン車が来館。ホールにゲーム、ぬり絵、工作などのイベント開催。平成28年1月23日(土) 増田児童センターホール
- ・交流七草がゆの会…地域でお世話になっているボランティアの方々を招待して、室内外で、正月遊びを行い、その後おやつの時間に七草がゆ会食を行い交流を図る。平成28年1月7日(木)

☆学童の様子☆



けん玉タイム



キッズサッカー教室



風船遊び(集会室)



水あそび



遠足「水の杜水族館」



親子レクリエーション
玉子の殻で工作

⑧ 増田児童センター利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	計
開館日数	25日	23日	26日	26日	26日	126日
登録児童 (放課後児童)	1297名	1318名	1503名	1414名	1096名	6628名
自由来館 (小学生以上)	991名	1010名	1044名	984名	868名	4897名
乳幼児親子	459名	399名	683名	504名	314名	2359名
行事	215名	495名	372名	451名	160名	1693名
合計	2962名	3222名	3602名	3353名	2438名	15577名

	9月	10月	11月	12月	計
開館日数	23日	26日	23日	23日	95日
登録児童 (放課後児童)	1205名	1362名	1245名	1199名	5011名
自由来館 (小学生以上)	833名	952名	850名	877名	3512名
乳幼児親子	462名	515名	359名	380名	1716名
行事	413名	1018名	354名	514名	2299名
合計	2913名	3847名	2808名	2970名	12538名

	1月	2月	3月	計	総計
開館日数	23日	24日	27日	74日	295日
登録児童 (放課後児童)	1126名	1239名	1112名	3477名	15116名
自由来館 (小学生以上)	801名	801名	731名	2333名	10742名
乳幼児親子	357名	495名	516名	1368名	5443名
行事	475名	483名	192名	1150名	5142名
合計	2759名	3018名	2551名	8328名	36443名

1日平均利用者数：約123名

(登録児：51名、自由来館児：36名、乳幼児親子：18名、行事等：17名)

⑨ 下増田放課後児童クラブ利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	計
開館日数	21日	18日	22日	22日	21日	104日
登録児童 (放課後児童)	1705名	1635名	1881名	1841名	1428名	8490名
長期休業期間のみ利用	123名 (5日)			526名 (9日)	686名 (17日)	1335名
乳幼児親子				356名	85名	441名
行事	0名	123名	196名	23名	161名	503名
合計	1828名	1758名	2077名	2746名	2360名	10769名

	9月	10月	11月	12月	計
開館日数	19日	21日	19日	19日	78日
登録児童 (放課後児童)	1597名	1801名	1567名	1417名	6382名
長期休業期間のみ利用				107名 (3日)	107名
乳幼児親子	361名	439名	311名	276名	1387名
行事	99名	314名	97名	260名	770名
合計	2057名	2554名	1975名	2060名	8646名

	1月	2月	3月	計	総計
開館日数	19日	20日	22日	61日	243日
登録児童 (放課後児童)	1334名	1441名	1595名	4370名	19242名
長期休業期間のみ利用	163名 (4日)		229名 (5日)	392名	1834名 (43日)
乳幼児親子	259名	561名	445名	1265名	3093名
行事	0名	87名	75名	162名	1435名
合計	1756名	2089名	2344名	6189名	25604名

1日平均利用者数：約105名

(登録児：79名、長期休業：43名、乳幼児親子：13名、行事等：6名)

⑩ 1年のまとめ

ぴよぴよハウスでは、日常の中で利用者（特に母親）の意見を聞きながら、それらをイベントに反映させていくことに力をいれた一年でもあった。利用者母親の意見からイベントを検討したり、利用者母が物作りの講師をしたり、母親同士で託児をしたり、父親向けイベントを開催など、利用者主体のイベント企画を行うことができた。今後もイベント企画だけにこだわらず、いろんな角度からの支援を考えていきたい。

学童では、小学生のセンターの使い方、生活の仕方、環境設定、遊びなど、大きな集団でどのようにしていったら子どもたちが負担にならないか、もしくは子どもたちが自ら気づき、主体的行動できるかなどを担当同士で話し合い、試行錯誤し、工夫していった1年だった。来年度7月には現在建設中の放課後児童クラブ専用の建物が完成するので、更なる環境設定の工夫を検討していきたい。

ファミリーサポートは、担当同士で連携をとりながら、業務を行いつつ、少しずつ他の職員にも業務内容を理解してもらえるよう促していった1年であった。協力会員の確保が今後も課題である。委託業務2年目となる年だったが、前年度に整理されないまま同じことを繰り返してしまった業務と、前年度の反省を踏まえて取り組むことのできた業務とあったように感じた。

まだまだ業務へ取り組むにあたってのスケジュールの組み方や役割分担など整理が必要であるが、職員の取り組みに向かう意識は、昨年度よりも幅広くなり、それぞれの担当業務との連携意識も高まってきているように思う。今後もその意識を忘れずに、さらに法人理念を念頭におきながら、質の向上を目指していくようにしていきたい。

2. 次世代育成事業

(1) 平成27年度子育て支援者スキルアップセミナー

①児童館・子育て支援者研修会～こどもたちの「遊び」「居場所」

講師：渡部 達也 氏（NPO 法人ゆめ・まち・ねっと代表）

日時：平成27年7月29日 19：00～20：30

会場：名取市市民活動支援センター

参加人数：20名

②児童館・子育て支援者研修会

講師：小町 正 氏（オマチマン事務所）

日時：平成28年3月2日 19：00～21：00

会場：名取市増田児童センター

参加人数：18名

成果・課題

参加者同士、問題意識を共有することが出来、今後の取り組みに活かすことが出来る内容であった。会を主催する上でも、講師やNPO関係者、子育て支援者同士の連携を深め、共に活動しており、より良い子育ての環境をとともに考え活動していくための基盤形成にもつながっている。

3. 地域の連携事業

(1) 子育てイベント託児

① 実績

依頼先・催事名	回 数	託 児 人数計	ボランティア 人数計
(公的託児)			
子育てひろば行事	1 6	1 2 9	6 5
市内公民館講座	1 2	1 2 2	6 7
ファミリーサポートセンター養成講座	7	9	9
名取市保育所ガイダンス	1	3 0	4
親子であそぼう なとりっこ	1	1 0 0	1
名取市 子育てサポーター養成講座	1	2	1
保健センターレディース健診	1	7 1	7
名取市 市民のつどい	1	4	4
宮城県主催 講演会	1	0	2
名取市図書館	1	5	4
合計	4 2	4 7 2	1 6 4
(民間託児)			
ヨガサークル	6	2 0	1 2
育児サークル	3	1 8	1 1
尚絅幼稚園	6	8 4	4 2
県聴覚障がい者協会	1	5	3
講演会	1	1 2	8
合計	1 7	1 3 9	7 6
総計	5 9	6 1 1	2 4 0

② 成果課題

スタッフも楽しみながら続けてきた活動が、任意団体時からの活動を数えて無事20周年を迎えることが出来うれしく思う。ボランティアスタッフの増員等、課題もあるが地域貢献を目指して、出来る範囲で今後も楽しみながら長く継続して活動していけるように取り組んでいく。

(2) 青少年への命の授業

① 内容

地域の方々と中学生を対象として、「心と命をつなぐ大切さ」を考え、共に体験する時間をもつことで、地域の世代を越えたふれあいの場を提供する。

② 実績

みどり台中学校共催 みどり台中学校命の授業「ココロふれあい講座」の実施

(「チャレンジクレイアート」「こんにちは！赤ちゃん～未来の親となるあなたへ～」

「命を考える～命には最後まで心がある～」の全3回)

- ・対象 みどり台中学校3年生
- ・場所 みどり台中学校 体育館

- ・協力機関 仙台ターミナルケアを考える会 仙台人権擁護委員会名取
名取市西部地区民生員児童委員協議会 脳キラッとなとり
みどり台中学校学区地域協力者

③ 成果・課題

出生から人生の終焉まで「命をつなぐ大切さ」を考える貴重な経験となり、思春期の生徒たちに命の大切さや将来の人間形成に必要な父性・母性を育ませるきっかけとしての取り組みに理解が深まり、事業として定着してきたように思う。地域の方々と共に考え、体験する時間を共有することで、世代を越えた地域交流の場となっている。実施に際しては、各団体や地域の方々の協力が不可欠である。思春期のこどもたちにとって、とても貴重な経験となることなど事業実施の必要性を各団体や地域の方々に呼びかけ、今後も継続して実施していく。

(3) 他団体との連携・協力

①内容

県内外の被災地支援や子育て支援を目的とする支援団体へ、協力団体として活動協力を実施（会場の設定、広報活動、ボランティアスタッフとして活動協力実施）

②実績

- ・宮城県家庭教育支援チーム関係
講師・ファシリテーター等 年間8回（理事 中保良子・チーム員 赤沼貴子）
- ・宮城県子育てサポーター・サポーターリーダー養成講座
講師 年間8回（理事 中保良子・理事長 齋藤勇介）
- ・宮城県サポーターリーダーネットワーク研修会
講師 年間1回（理事 中保良子）
- ・増田中学校（モラルジレンマ授業）関係
実施日数 5日間（担当：理事 中保良子）
- ・宮城県「みやぎの協働教育に係る懇話会」関係
委員会出席等 2回（理事 中保良子）
- ・名取市子育てサポーター養成講座関係
講師 3回（理事 中保良子・理事長 齋藤勇介）
- ・宮城県教育応援団関係
講師 2回（理事長 齋藤勇介）
- ・宮城県教育事務所 学ぶ土台づくり圏域別親の学び研修会
講師 6回（理事 中保良子）
- ・子育てひろば全国連絡協議会 全国子育てひろば実践交流セミナーin みやぎ
現地運営協力団体（スタッフ派遣等）及び 実践報告（理事長 齋藤勇介）
- ・石巻市父子手帳作成委員会 アドバイザー（理事長 齋藤勇介）
- ・他団体
親学習プログラム関係 講師 年間8回（理事 中保良子）
のびすく仙台 パパサロン講師 ＊全3回開催（理事長 齋藤勇介・副理事長 小野高宏）
名取市保健センター もぐもぐセミナー講師 年間4回開催（理事長 齋藤勇介）
子育て講座・育児講座（父親の育児参加・地域連携・実践報告等）
講師 年間13回（理事長 齋藤勇介・副理事長 小野高宏）

④ 成果・課題

取り組みを通じて法人の活動や、こどもたちの育ちに関わる想いを地域に伝えつつ、他団体との連携を深めていくことで児童センター事業をはじめとする他の事業での活動にも

つながっており、行政や他団体との信頼関係を構築し活動の幅に広がりが出来たと感じる。

4. 子育て支援事業

(1) ホームスタート（平成27年度まちくるみ育児ファンド助成事業）

訪問型子育て支援事業「ホームスタート」の実施。

訪問ボランティア（ビジター）育成・サポート

担当：2名

① 事業実績

HS ホームビジター養成講座、スキルアップ講座実施

◆HS ホームビジター養成講座

実施日（第1回）	2015年5月14日～7月2日		
受講者数	10人	修了者数	6人
外部講師名	越中 康治（宮城教育大学） 森山 英子（NPO法人仙台傾聴の会） 鈴木 俊博（子ども虐待防止ネットワークみやぎ）		
登録ビジター数	9人		

② 訪問活動

総訪問回数	63回
利用家庭数	12家庭
活動終了家庭数	3家庭
効果	産後と上の子の赤ちゃん返りで大変な時期をカバー出来、保健師からも感謝された。生活に張りが出たという効果も聞いている。引っ越してきたばかりで初めての育児に不安を抱えている母親が地域に知り合いが出来安心出来た。核家族で祖父母との交流が減少する中、疑似体験のような関係が利用者・ビジター（ボランティア）ともに体験出来ることは貴重な体験であると考えている。

③ 成果・課題

保健センター等との連携も取れて、新生児訪問時に全戸配布してもらえるようになり、活動も安定してきている。しかし、まだまだ認知度は低いので、必要とする家庭に支援の手が届くよう周知方法など改善に努めていきたいと思う

Ⅲ 1年のまとめ

法人として事業を開始から5年目を迎え、職員の増員や入れ替えなどもあり基盤強化をより求められる1年となった。法人としての内部基盤を確立するため、事業の見直しを図り、資質の向上や問題意識の共有などに力を入れていく必要があると強く感じている。見えてきた現状の課題を踏まえ、改善に向けた取り組みを具現化し基盤強化に努めて、法人として次のステップへと進んでいけるように取り組んでいく。